

もものせん孔細菌病を
優れた抗菌力でしっかり防除。

殺菌剤

マイコシールド®

®は日本曹達(株)の登録商標です。

- 唯一のテトラサイクリン抗生物質、オキシテトラサイクリンを配合
- 既存抗生物質低感受性菌にも安定した効果
- オキシテトラサイクリンを高濃度で処方



実の症状



葉の症状

1500倍、散布液量は400~500ℓ/10aを
確保してしっかり防除!



もものせん孔細菌病に

殺菌剤

マイコシールド®



登録番号：農林水産省登録 第16152号

■有効成分：アルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリン…31.5%
(オキシテトラサイクリンとして…17.0%)

■人畜毒性：普通物
(毒劇物に該当しないものを指している通称)

殺菌剤分類 41

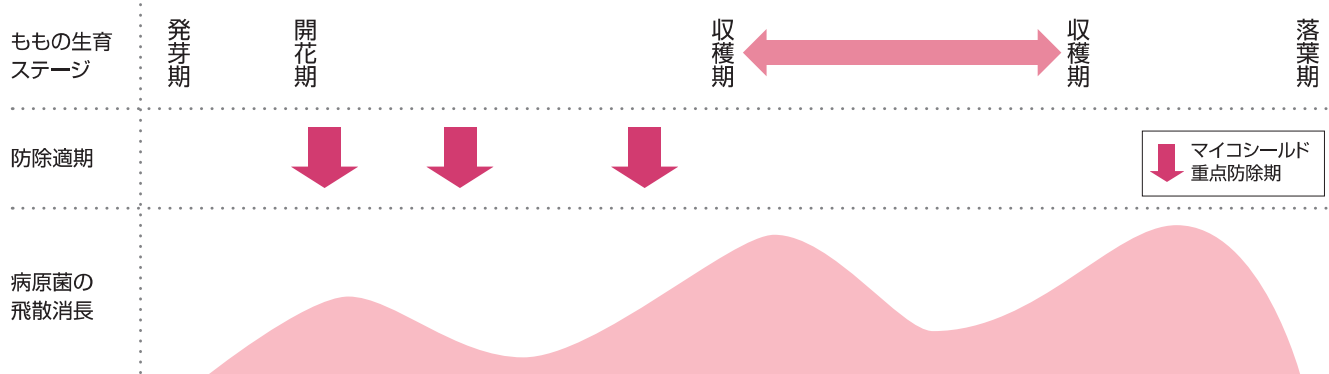
1 広範囲抗生物質オキシテトラサイクリンを高濃度で配合

広範囲抗生物質オキシテトラサイクリンを17.0%の高濃度で処方した殺菌剤です。そのため、作物の病原細菌に対して、高い抗菌活性を示します。

2 核果類果樹の細菌病に対する高い防除効果

核果類果樹(もも等)の細菌病に対しては、特に高い抗菌活性を示します。

マイコシールドの上手な使い方〈せん孔細菌病の発生病消長とマイコシールドの防除時期〉



- 開花期以降の生育期(4月中旬～6月下旬)に1週間間隔で散布しましょう。(※散布のタイミングは各地域の指導に従ってください。)
- 耐性菌の発現を防ぐため、作用性の異なる有効薬剤と組み合わせて使用してください。
- 発生前に予防的に散布しましょう。(発生後では効果が劣ります)
- 薬剤防除だけに頼らず、風当たりの強い園では防風網を設置する、春型枝病斑(スプリングキャンカー)が認められた枝は早期に取り除くなど、耕種的防除を併用してください。

■適用病害と使用方法 (抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキシテトラサイクリンを含む農薬の総使用回数
もも	せん孔細菌病	1500～3000倍	200～700ℓ/10a	収穫21日前まで	5回以内	散布	5回以内

※ネクタリン、すもも、おうとう、うめ、あんず、かんきつ等の作物にも登録があります。

⚠効果・薬害等の注意事項(抜粋)

- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 石灰硫黄合剤との混用は避けてください。
- 散布直後の降雨は効果を減するので、天候を見極めてから散布してください。
- もものせん孔細菌病に対しては、ときには葉先の黄化などの薬害を生じるので注意してください。

⚠安全使用上の注意(抜粋) ㊦㊧㊨㊩

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けてください。
- 夏期高温時の使用を避けてください。

■保管

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

2025年2月現在の登録内容に基づいています。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

お問合せ (03)4212-9655

(平日9～12時、13～17時、土日祝日を除く)

No.573-2502CC

うめのかいよう病は定期防除で。

殺菌剤

マイコシールド®

®は日本曹達(株)の登録商標です。

- 唯一のテトラサイクリン抗生物質、
オキシテトラサイクリンを高濃度で配合
- 既存抗生物質低感受性菌にも安定した効果



実の症状



葉の症状

希釈濃度1500倍を確保してしっかり防除!



殺菌剤 マイコシールド®

登録番号：農林水産省登録 第16152号

■有効成分：アルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリン …… 31.5%
(オキシテトラサイクリンとして …… 17.0%)

■人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

殺菌剤分類 41

1 広範囲抗生物質テトラマイシンを高濃度で配合

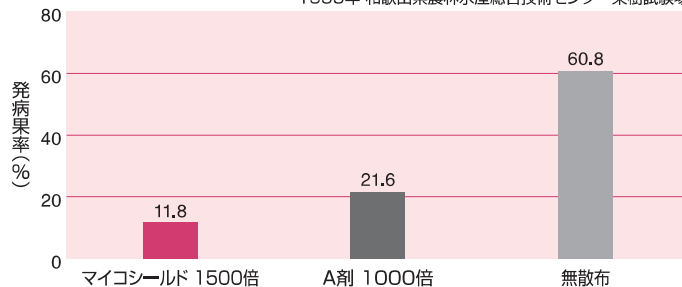
広範囲抗生物質テトラマイシン(一般名：オキシテトラサイクリン)を31.5%の高濃度で処方した殺菌剤です。そのため、作物の病原細菌に対して、高い抗菌活性を示します。

2 うめの細菌病に対する高い防除効果

うめの細菌病に対しては、特に高い抗菌活性を示します。

■試験成績 うめ かいよう病に対する防除効果

1999年 和歌山県農林水産総合技術センター果樹試験場



防除価	87.8	76.9	—
-----	------	------	---

【試験概要】 発生状況：やや多発生 区 制：1区1樹 4連制(対照区は5反復) 調査日：6/8
品 種：南高9年生 散布日：4/1、4/12、4/22、5/3(計4回)

■マイコシールドの上手な使い方(かいよう病の防除時期)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
うめ生育ステージ		開花期	発芽期	硬核期	成熟期	花芽分化期	
かいよう病発病ステージ	越冬／潜在感染			発病時期			
マイコシールド防除適期	ポイント！ 散布濃度と散布量 希釈1,500倍で500～700g/10a			定期防除 ・初期防除で菌密度低下 ・細菌の適温になる前に菌密度低下 ・台風、降雨前に菌密度低下 は防除適期			

■適用病害と使用方法(抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキシテトラサイクリンを含む農薬の総使用回数
うめ	かいよう病	1500倍	200～700g/10a	収穫21日前まで	4回以内	散布	4回以内

※もも、ネクタリン、すもも、おうとう、あんず、かんきつ等の作物にも登録があります。

△効果・薬害等の注意事項

- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- 散布直後の降雨は効果を減するので、天候を見極めてから散布してください。
- うめに使用する場合、希釈倍数等使用方法を誤ると、葉の退緑斑、果皮の退緑化等の薬害を生じるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

△安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

■保管

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

2025年2月現在の登録内容に基づいています。

製造



日本曹達株式会社
東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

販売



日本農薬株式会社



丸和バイオケミカル株式会社

農林水産省登録
第16152号

うめのかいよう病、
もものせん孔細菌病を
優れた抗菌力でしっかり防除。

殺菌剤

マイコシールド®

®は日本曹達(株)の登録商標です。



うめ かいよう病



もも せん孔細菌病



日本曹達株式会社



1 広範囲抗生物質テトラマイシンを高濃度で配合

広範囲抗生物質テトラマイシン(一般名:オキシテトラサイクリン)を31.5%の高濃度で処方した殺菌剤です。そのため、作物の病原細菌に対して、高い抗菌活性を示します。

2 うめ・ももの細菌病に対する高い防除効果

うめ、ももの細菌病に対しては、特に高い抗菌活性を示します。

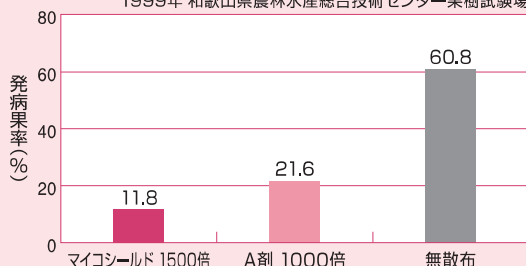
■適用病害と使用方法 (抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキシテトラサイクリンを含む農薬の総使用回数
うめ	かいよう病	1500倍	200~700ℓ/10a	収穫21日前まで	4回以内	散布	4回以内
もも	せん孔細菌病	1500~3000倍			5回以内		5回以内

■試験成績

うめ かいよう病に対する防除効果

1999年 和歌山県農林水産総合技術センター果樹試験場



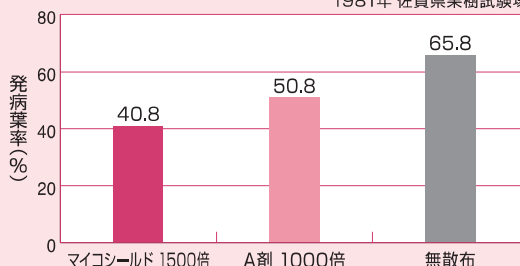
防除価	87.8	76.9	—
-----	------	------	---

【試験概要】

発生状況: やや多発生
品 種: 南高9年生
区 制: 1区1樹 4連制(対照区は5反復)
散 布 日: 4/1、4/12、4/22、5/3(計4回)
調 査 日: 6/8

もも せん孔細菌病に対する防除効果

1981年 佐賀県果樹試験場



【試験概要】

発生状況: 並
品 種: 大久保5年生
区 制: 1区4樹
散 布 日: 5/7、6/10、6/18(計3回) 調 査 日: 7/1
降雨日数と降水量: 5/7~6/10(9日、135.5mm)
6/10~6/18(5日、51.5mm)
6/18~7/1(11日、468.5mm)

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- 散布直後の降雨は効果を減するので、天候を見極めてから散布してください。
- もものせん孔細菌病に対しては、ときには葉先の黄化などの薬害を生じるので注意してください。
- きゅうりの種子消毒に対しては、播種前に種子を所定の浸漬時間及び希釈倍数で処理してください。
- うめに使用する場合、希釈倍数等使用方法を誤ると、葉の退緑斑、果皮の退緑化等の薬害を生じるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

■保管

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

2025年2月現在の登録内容に基づいています。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

お問合せ (03)4212-9655

(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)

No.570-2502CC

ブロッコリーの花蕾腐敗病、軟腐病、黒腐病
キャベツの黒腐病、だいこんの軟腐病を
優れた抗菌力でしっかり防除。

殺菌剤

マイコシールド®

®は日本曹達(株)の登録商標です。



キャベツ 黒腐病



ダイコン 軟腐病



ブロッコリー 花蕾腐敗病



ブロッコリー 軟腐病



ブロッコリー 黒腐病



日本曹達株式会社



1 広範囲抗生物質テトラマイシンを高濃度で配合

広範囲抗生物質テトラマイシン(一般名:オキシテトラサイクリン)を31.5%の高濃度で処方した殺菌剤です。そのため、作物の病原細菌に対して、高い抗菌活性を示します。

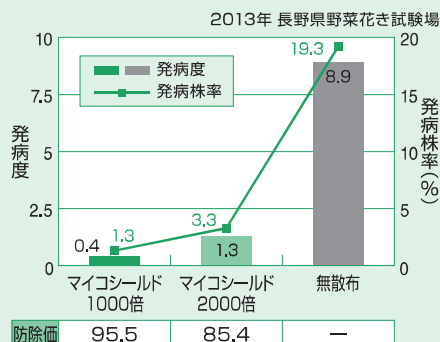
2 細菌感染時期の散布が効果的

強風時や台風襲来時などの細菌感染時期の直近、直後に本剤を散布することで、優れた防除効果を発揮します。

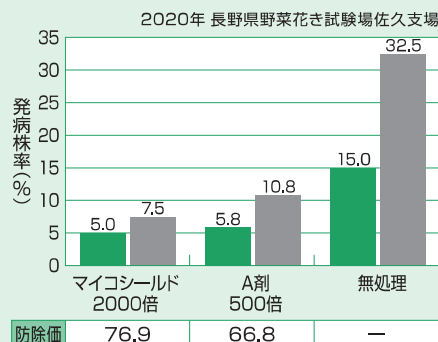
■適用病害と使用方法 (抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキシテトラサイクリンを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	花蕾腐敗病 軟腐病 黒腐病	1000~2000倍	100~300ℓ /10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
キャベツ	黒腐病			収穫7日前まで			
だいこん	軟腐病	750~1000倍		収穫14日前まで	3回以内		3回以内

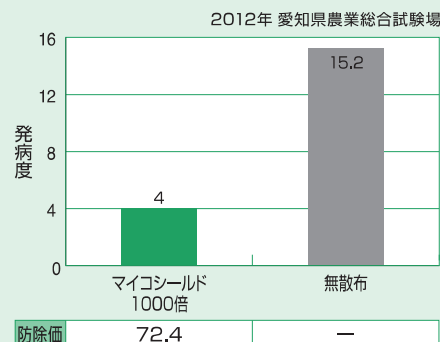
■試験成績

ブロッコリー
花蕾腐敗病に対する防除効果

【試験概要】発生状況:少発生
品 種:ピクセル
区 制:1区75株 3連制
散 布 日:6/24、7/1、7/7
調 査 日:7/12(収穫期)
考 察:薬害は認められなかった。

ブロッコリー
軟腐病に対する防除効果

【試験概要】発生状況:中発生(接種)
品 種:おはよう
区 制:1区44株 3連制
散 布 日:7/8、7/16、7/29
調 査 日:7/29、8/4
考 察:薬害や汚れの発生は認められなかった。

キャベツ
黒腐病に対する防除効果

【試験概要】発生状況:中発生(6/22 黒腐病菌を接種散布)
品 種:金系201EX
区 制:1区56株 3連制
散 布 日:6/14、6/20、6/28
調 査 日:7/9
考 察:薬害は認められなかった。

△効果・薬害等の注意事項

- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- 散布直後の降雨は効果を減するので、天候を見極めてから散布してください。
- もものせん孔細菌病に対しては、ときには葉先の黄化などの薬害を生じるので注意してください。
- きゅうりの種子消毒に対しては、播種前に種子を所定の浸漬時間及び希釈倍数で処理してください。
- うめに使用する場合、希釈倍数等使用方法を誤ると、葉の退緑斑、果皮の退緑化等の薬害を生じるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任におい

て事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

△安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。

- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

■保管

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

2025年2月現在の登録内容に基づいています。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

お問合せ (03)4212-9655

(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)